

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 施設・設備の整備については、完成年度以降の教育学部再編計画に併せた整備計画を立案する。	→ 「将来ビジョン委員会の開催回数」	B	B	B	C	/
2. 教育研究支援体制については、TAの配置の具体案を策定する。	→ 「TAの制度について検討のための委員会開催頻度と進捗状況」	C	C	C	C	/
3. 研究倫理を遵守するために学内関連諸規程の周知徹底を図る。	→ 「教授会などを通して周知徹底の回数」	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教育学部再編構想をもとに文部科学省に新学科設置の届出を行い、また教職課程認定申請を行なったため、施設設備の計画の立案には至らなかった。
目標2	大学院生・研究員の人数が限られているため、TA配置の具体案策定には至らなかった。
目標3	FD研修会において研究倫理の研修を行なった。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学部】			単位	2009	2010	2011	2012	2013	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、 授業補佐の採用数	教学補佐	人	4	4	4	4	4	
		実験実習 指導補佐・ 教務補佐	人	5	5	6	7	7	
		授業補佐	人	0	0	0	0	0	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	5.2	8.1	12.5	14.0	15.4	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	3.9	8.5	11.5	15.4	13.3	
		講師	時間	0.7	6.0	—	16.0	15.0	
		助教	時間	—	—	—	—	—	